

ae 社協だより

～ふれあいネットワーク～

第44号 2019
令和元年5月1日発行

令和

編集・発行: 社会福祉法人 伊佐市社会福祉協議会
【菱刈本所】伊佐市菱刈前目711-1(まごし館) TEL:0995-26-4120
FAX:0995-26-4783 E-mail:kotob019@po.minc.ne.jp
【大口支所】伊佐市大口里3054-1(元気こころ館) TEL:0995-23-0011
FAX:0995-23-0135 E-mail:ookuchicityshakyou@violin.ocn.ne.jp

目次

- P1…日本赤十字事業および日赤運動月間(5月)の紹介
- P2…平成30年度 日本赤十字 伊佐市地区および赤い羽根共同募金 実績報告
- P3…令和元年度 伊佐市社会福祉協議会 事業計画
- P4…令和元年度 伊佐市社会福祉協議会 事業予算
- P5…福祉サービス利用支援事業、学生服リユース事業の紹介
- P6…香典返し・篤志(1～3月分)、祭壇貸付事業の紹介
- P7…心配ごと相談、児童・生徒のふれあいボランティア事業、ボランティア活動保険

春の夜桜 忠元公園

社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金の一部を使用し作成しています。

～日本赤十字事業のご紹介～

市民の皆様には、日頃から赤十字事業への深いご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
 昨年は、国内において、西日本豪雨災害や大阪北部地震、北海道胆振東部地震などの災害により多くの方々が被災され、日本赤十字社では、医療救護班の派遣や救援物資の輸送・配分、被災者に対するこころのケア活動など各種支援活動を展開しました。一方、鹿児島県内においては、幸いにも、医療救護班が出動する事態には至りませんでした。9月に襲来した台風第24号により被災された方々に対して、毛布や緊急セットなどの救援物資をお届けしました。

このような災害救護をはじめとする日本赤十字社が行う様々な活動は、市民の皆様の温かいご支援・ご協力によって支えられております。

本年は、名誉総裁の皇后陛下のご退位と国際赤十字・赤新月社の創設100周年という節目の年に当たりますが、昨年に引き続き、「人道」の旗印の下、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動を積極的に展開してまいりますので、何とぞご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆九州八県支部合同災害救護訓練

南海トラフ地震への備えと九州各県の赤十字の連携強化を図っています！



12月2～3日(日・月)、九州八県の赤十字救護関係者が佐賀に集結し、合同災害救護訓練を実施しました。

この訓練は、大規模な広域災害を想定し、九州八県の赤十字施設が連携して取り組む救護活動の確立を目的に、平成7年度から毎年行われています。

昨年度は佐賀市を中心としたエリアで震度7の地震に伴い、各地で甚大な被害が発生したという想定で行われ、鹿児島県支部から11名、総勢約290名が参加しました。



◆平成で起きた災害の被災地域に

対する日赤鹿児島県支部の支援実績※

- 医療救護班 災害12件に32班、延べ239名を派遣
- こころのケア要員 災害3件、延べ15名を派遣
- 災害救援物資 78,100個(枚)配付
(毛布・タオルケット・ブルーシート・緊急セットなど)



旧大口市で実施された巡回診療の様子

※上記のうち、平成18年7月 県北部豪雨災害による伊佐市(旧大口市・旧菱刈町)の支援実績

- ・医療救護班 1班(6名)を派遣し、旧市町内4カ所の避難所への巡回診療を実施
- ・災害救援物資 毛布758枚・タオルケット245セット・日用品400セット・見舞品505セット・ブルーシート640枚の配付
- ・赤十字奉仕団(赤十字の活動を支えるボランティア団体)による非常炊出しの実施
(社会福祉大会[毎年10月最終日曜開催]での非常炊出し実演をはじめ、炊出し訓練を実施しています。)

＋5月は赤十字の運動月間です！＋

～赤十字会費(活動資金)へのご協力をお願いします～

日赤鹿児島県支部では、災害発生時に迅速に傷病者を救護できるよう、医療救護班を常時編成し、訓練を行うなど今後いつ起こるか分からない災害等に備えています。また、被災された方々が必要とされる救援物資の備蓄及び配付を行っています。

災害救護活動以外にも、市民の方々に正しい救命処置や応急手当などを学んでいただく「救急法等の講習」や「赤十字奉仕団の活動」、未来を担う子どもたちの健全育成のための「青少年赤十字活動」、近年、増加している災害に備え、自助と共助の力を高めるための「赤十字防災セミナー」などを行っています。

このような日本赤十字社の人道支援活動を行うための財源は、すべて皆様からお預かりする赤十字会費(活動資金)により支えられています。



市民の皆様の思いやり・お心遣いに心より感謝いたします！

＋ 日本赤十字 伊佐市地区 実績報告 ＋

平成30年度 会費実績額 4,246,750円

日本赤十字社へ送金し、国際救援活動をはじめ国内の災害救護活動や社会福祉事業、救急法の講習会などの事業に使われています。

また、伊佐市内においては、自然災害や火災等に遭われた方に毛布や日用品セットなどの災害見舞品の配付や、日赤奉仕団の非常炊出し訓練の研修会などにも充てられています。これらの財源は皆様からの会費によって活動が支えられています。



日本赤十字社公式
マスコットキャラクター
ハートラちゃん
©日本赤十字社

平成30年度 義援金受付総額 420,906円

皆様からお預かりした義援金は、日本赤十字社へ送金し、被災地に配分されます。
あたたかいご支援ありがとうございました。ご報告と合わせてお礼申し上げます。

平成30年7月豪雨災害
343,340円※

平成29年7月5日からの大雨災害
50,000円

平成30年北海道胆振東部地震
21,043円

※上記のうち、老人クラブ連
合会の皆様からは、206,800円
の義援金をいただきました。

平成28年熊本地震
4,807円

東日本大震災
1,716円

伊佐市共同募金委員会 実績報告

平成30年度 一般募金・歳末たすけあい募金総額 5,559,796円

一般募金 5,094,796円

歳末たすけあい募金 465,000円

区 分	実 績 額(円)
戸 別 募 金	3,948,650
法 人 募 金	773,928
学 校 募 金	79,627
職 域 募 金	85,525
イ ベ ン ト 募 金	32,336
個 人 募 金	6,468
そ の 他	168,262
合 計 額	5,094,796

寝たきりの高齢者や障がい者(児)等の方々93人(各5,000円)へ民生委員の方々にご協力いただき、越年見舞金をお贈りいたしました。

市民の皆様からいただいた歳末たすけあい募金活動中の街頭募金や企業募金を越年見舞金として充てております。

昨年10月1日から12月31日までの間、伊佐市内の職場・学校・街頭等多くの場合で、募金にご協力いただきありがとうございました。
おかげさまで多くの募金が集まりました。



共同募金シンボルキャラクター
愛ちゃんと希望くん
©中央共同募金会

昨年度にお寄せいただきました募金は、全額を県共同募金会へ送金しており、その金額の約7割が今年度の伊佐市の福祉活動資金として配分されます。この配分金は、今年度の敬老行事祝い・記念品贈呈事業、市内小中学校でのボランティア活動、各福祉団体等への助成、福祉イベント開催、ふれあいサロンへの助成等に使われます。

赤い羽根募金の使いみちの詳細
について知りたい方は…

はねっと



と検索して
みて下さい！

令和元年度 事業計画

令和元年度の予算、事業計画などを審議する理事会(3/20)・評議員会(3/28)が開催され、本年度の事業方針及び事業計画、予算等が決定されました。

令和元年度の実業計画及び予算についてはこのとおりです。「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の達成に向け、市民の皆様とともに一歩ずつ活動を進めてまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【基本方針】

伊佐市の人口は減少傾向にあり、高齢化率は40.2%(平成31年2月現在)と、少子高齢化が急速に進んできています。加えて、高齢者単身世帯の増加や地域でのつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境はますます厳しくなっています。また、孤独死・認知症高齢者の増加・育児に悩む母親の問題など、地域の福祉課題は複雑・多様化してきています。

そのような中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、かねてから地域の中でお互いに支えあい、助けあうといった思いやりの気持ちを醸成していくとともに、人と人とのつながりや結びつきを深めていくような、きめ細やかな地域福祉が重要です。少子高齢化の進展や社会情勢の変化に伴い、生活困窮者や社会的孤立に対する支援など福祉ニーズは、さらに複雑・多様化してきている中で誰もが安心して暮らすことのできる社会実現は、市民の願いであり大きな課題でもあります。

社会福祉協議会には、地域福祉推進の中核的役割を果たすのみならず、サービスの創意工夫と他の事業主体で対応が困難な福祉ニーズに対しても果敢に挑戦することが求められています。

今年度は、生活支援体制整備事業のより一層の推進に向けて、伊佐市と連携・協力を図りながら、コミュニティ協議会・自治会・民生委員児童委員協議会など福祉活動を行う関係団体等とともに、地域における福祉課題解決のために積極的に取り組んでまいります。

また、市民の皆様が住み慣れた地域で生活できるよう、これまで取り組んできたサロンの開設や見守り活動など、地域住民の参画をいただきながら積極的に取り組んでまいります。

介護保険事業におきましても、居宅介護支援事業所にて特定事業所加算を取得し、専門性の高い人材を確保し、介護度の高い利用者や支援が困難な場合に対しても積極的にサービス提供してまいります。また、介護支援専門員資格試験に合格された実習生の受入れ体制をとり、地域全体の介護サービスの質の向上を目指します。

一方、現在の本会の財政については、介護保険事業における事業収入、社協会費、寄附金等の減少、伊佐市からの補助金額削減などにより、極めて厳しい状況にあります。そのような状況にあることを踏まえ、事務事業の見直しや新たな財源確保などを盛り込んだ平成30年度から5年間を計画期間とする「財政改善計画」に基づき、改善に取り組んでまいります。

このような中、社会福祉協議会としては、地域の福祉課題や住民のニーズを把握し、行政・民生委員など各種福祉団体等とともに「誰もが安心して暮らすことができる地域福祉」の実現に向けて取り組んでまいります。

令和元年度 事業予算

【重点目標】

- ① 社会貢献活動の仕組みづくり
- ② 地域福祉活動計画の策定
- ③ 介護予防事業の充実と新規事業への参入
- ④ 地域住民等のボランティア活動の推進
- ⑤ 職員の意識改革と資質向上



(単位：円)

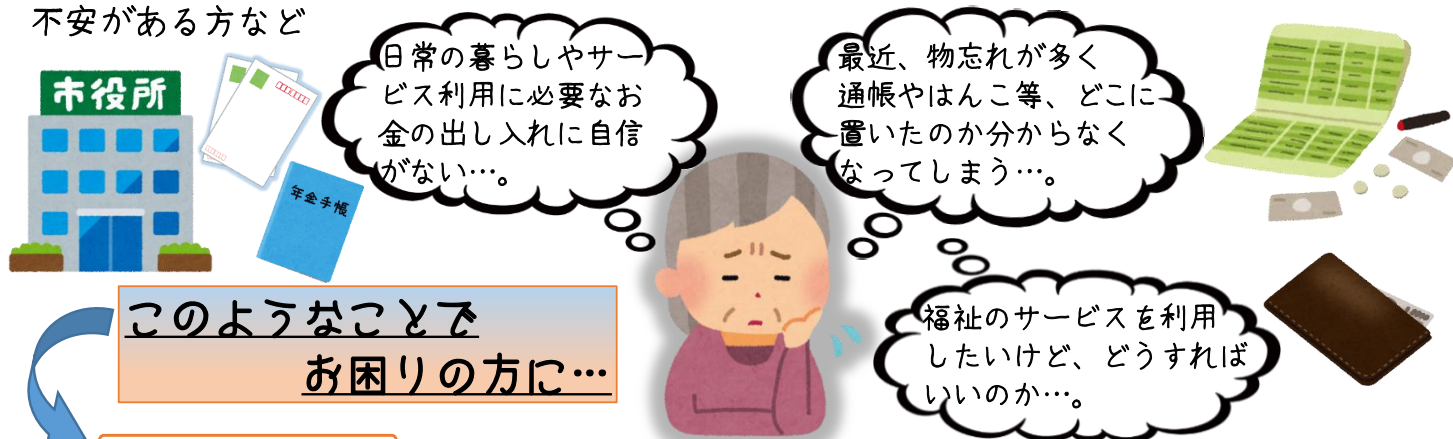
勘 定 科 目				法人合計	社会福祉事業	収益事業
事業活動による収支	収入	会 費 収 入	2,932,000	2,932,000	0	
		分 担 金 収 入	157,000	157,000	0	
		寄 附 金 収 入	6,000,000	6,000,000	0	
		経 常 経 費 補 助 金 収 入	13,965,000	13,965,000	0	
		受 託 金 収 入	34,934,000	34,934,000	0	
		貸 付 事 業 収 入	510,000	510,000	0	
		事 業 収 入	42,615,000	42,615,000	0	
		介 護 保 険 事 業 収 入	58,746,000	58,746,000	0	
		障 害 福 祉 サービス等事業収入	1,300,000	1,300,000	0	
		祭 壇 貸 付 事 業 収 入	8,005,000	0	8,005,000	
		受 取 利 息 配 当 金 収 入	58,000	53,000	5,000	
		そ の 他 の 収 入	60,000	60,000	0	
		事 業 活 動 収 入 計	169,282,000	161,272,000	8,010,000	
		支出	人 件 費 支 出	117,630,000	113,550,000	4,080,000
	事 業 費 支 出		30,556,000	30,206,000	350,000	
	事 務 費 支 出		11,145,000	10,218,000	927,000	
	祭 壇 貸 付 事 業 支 出		1,800,000	0	1,800,000	
	貸 付 事 業 支 出		500,000	500,000	0	
	助 成 金 支 出		1,160,000	1,160,000	0	
	負 担 金 支 出		210,000	210,000	0	
	事 業 活 動 支 出 計		163,001,000	155,844,000	7,157,000	
		事 業 活 動 資 金 収 支 差 額	6,281,000	5,428,000	853,000	
その他活動による収支	収入	サービス区分間繰入金収入	10,000	10,000	0	
		そ の 他 の 活 動 収 入 計	10,000	10,000	0	
	支出	積 立 資 産 支 出	43,000	40,000	3,000	
		サービス区分間繰入金支出	10,000	10,000	0	
		そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出	3,934,000	3,654,000	280,000	
		そ の 他 の 活 動 支 出 計	3,987,000	3,704,000	283,000	
		そ の 他 の 活 動 資 金 収 支 差 額	-3,977,000	-3,694,000	-283,000	
		予 備 費 支 出	1,819,000	1,674,000	145,000	
当 期 資 金 収 支 差 額 合 計		485,000	60,000	425,000		
前 期 末 支 払 資 金 残 高		45,400,000	42,700,000	2,700,000		
当 期 末 支 払 資 金 残 高		45,885,000	42,760,000	3,125,000		

～住み慣れた地域で安心して暮らすために～

ご存知ですか？『福祉サービス利用支援事業』

ご利用できる方

認知症・知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が低下されている方で、日常生活に不安がある方など



このようなことで
お困りの方に…

お手伝いします！

ご本人の意向を確認させていただき、支援計画に基づいてサポートいたします！

まずは伊佐市社協まで
ご相談を☆ 26-4120

・福祉サービスの利用の
相談や申し込み

・日常の暮らしに欠かせない
お金の出し入れ

・大切な通帳や印鑑等を
安全な場所でお預かり



学生服リユース事業



「学生時代の要らなくなった制服だけど、捨てるのは辛い。売るのもなんだか抵抗がある…」

そういった方は、実はけっこう多いのではないのでしょうか？

この事業は「思い出の詰まった制服を次の世代に使ってほしい人」と「制服リユースで進学の実費負担を軽くしたい、進学の夢を諦めたくない人」…そんな両者を結び付けていくのが、今回の事業です。

★該当する制服

伊佐市内の小・中・高校
の制服(夏・冬)

※汚れや破損がひどい物はお預かりできないことがあります。ご了承ください。

制服を提供したい

直接、以下の場所にお持込みください。

- ・伊佐市こども課(大口庁舎)
- ・社協本所(まごし館)及び大口支所(元気こころ館)
- ・子育て支援センター ルピナス(旧大口南中跡)

※制服以外に、体操服やランドセル、
中高生の学校かばんも受付けています。

制服を希望する人

伊佐市こども課または伊佐市社協本所(まごし館)
へご連絡ください。

- ・伊佐市こども課 TEL 23-1311
- ・伊佐市社協本所 TEL 26-4120



たくさんの善意に感謝いたします。【香典返し・篤志】 ～やさしい心をありがとうございます～

社会福祉協議会では、皆様からたくさんのご寄付(香典返し・篤志)をお預かりしております。
お預かりしたご寄付は、市民の皆様の福祉向上のために大切に使用させていただきます。
今回の掲載は、平成31年1月1日～平成31年3月31日に受け付けたものです。
大変失礼ですが、敬称は略させていただきます。
香典返し・篤志の掲載、故人・金額は、ご寄付者様のご希望のみ掲載しております。
ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。

菱刈本所・大口支所受付(順不同)

【香典返し】

	自治会等	ご寄付者名	故人名	金額(円)		自治会等	ご寄付者名	故人名	金額(円)
1	平出水	馬関 芳文	馬関 スミ		28	鳥巢上	横山 五月	横山 ミチ子	
2	小木原中	宮園 アイ	宮園 續		29	里町	津曲 芳子	津曲 邦重	
3	高原	小長野 チエ子	小長野 茂		30	上之馬場	塚本 和人	塚本 恵美子	
4	西本町	三重 純一	三重 アヤ子		31	青木ヶ島	内村 ケサ子	内村 信一	
5	園田	中間 義廣	中間 多恵子		32	淵辺	島内 幸代	島内 ヒサエ	
6	上ノ馬場	村上 史之	村上 尚子		33	木ノ氏	内村 恵子	内村 敏夫	
7	上目丸	原口 節子	前田 ミツエ		34	下青木	今西 京子	今西 學	
8	一の山	栂山 照男	栂山 スミ子		35	下ノ木場	宮元 勝子	宮元 猛	
9	並木	堀ノ内 洋一	堀ノ内 シヅノ		36	包ノ原	安永 弘	安永 ノブ	
10	崎山東	岸ノ上 ミヤ子	岸ノ上 恵		37	土瀬戸	岡崎 初夫	岡崎 トミ子	
11	停車場	竹下 信一	竹下 ナミ		38	上新町	沖田 憲司	沖田 タミ子	
12	金波田	緒方 哲美	緒方 キミ	10,000	39	川岩瀬	天立 清文	天立 ユリ子	
13	舟ノ川	吉加江 末治	吉加江 隆		40	小木原上中	井立田 陽子	井立田 常美	
14	木ノ氏	宮田 長利	宮田 ノブ		41	大阪府池田市	中西 春男	中西 ツヤ子	
15	金波田	上井 求	上井 妙子		42	麓後	上田 玲子	上田 哲也	
16	元町実業	有蘭 友子	小城 スミ		43	始良市	池田 里美	一森 カズ子	30,000
17	永野原	山下 賢二	山下 ミチ子		44	岩坪	石井 トヨ子	田中 ハツエ	
18	崎山	前原 正史	前原 ミドリ		45	岩坪	石井 トヨ子	田中 治美	
19	白木	瀬戸口 学	瀬戸口 賢次		46	大阪府大阪市	道川内 一紀	道川内 アツ子	
20	上新町	谷山 光徳	谷山 ハツエ		47	愛都	湯川 由美子	鎌田 あや子	
21	井立田	井立田 シヅ子	井立田 次郎一		48	青木元	山之氏 由美子	福島 清光	
22	駅前	尾口 まゆみ	陣之内 チヨ子		49	下手浜場	福田 幸俊	福田 初恵	
23	大住	田中 登	田中 律子		50	下荒田	米澤 豊	米澤 勝信	
24	下目丸	萩原 伸彦	萩原 フキ		51	霧島市横川	四位 明美	亀園 スミエ	
25	月野	内之段 悟	内之段 トミ		52	楠原上	中水流 幸江	堂山 ケサオ	30,000
26	上松	田島 伸一	田島 シズカ		53	荒田下	吉村 三代子	吉村 一成	
27	駅前	原口 博	原口 昌宏		54	桜馬場	作江 福一	作江 米吉	20,000

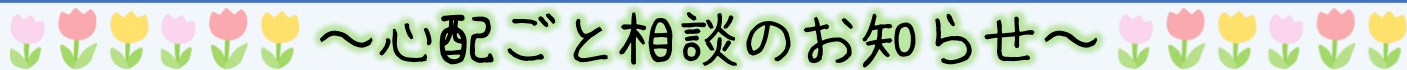
【篤志】

ご寄付者名	金額(円)
本城クラブ	

～祭壇貸付事業のご案内～

葬儀に関するお問合せ・ご相談は、下記までご連絡ください。

伊佐市社協:26-4120 担当携帯(肥後):090-2714-3317



日常生活の中で困りの事はありませんか？お悩みの解決の糸口に！

伊佐市社協では、市民の皆様の様々な悩みごとに対し、心配ごと相談を行っており、相談員が対応致します。（※相談は無料です！尚、相談内容等、個人情報厳守します。）

日程及び場所 5/8(水)[羽月地区公民館] 6/5(水)[本城校区集会施設]
(毎月第1水曜) 7/3(水)[山野基幹集落センター] 8/7(水)[湯之尾校区集会施設]
★5月のみ第2水曜

※今年度より校区を一部巡回いたします。場所をお間違えないよう、ご注意ください。

児童・生徒のふれあいボランティア事業

～小・中・高校生はポイントを貯めて活動認定証をもらおう！～

☆対象活動

例) 道路・自治会・地域コミュニティ協議会の清掃活動、社会福祉施設等での活動、
収集・募金活動、高齢者サロン等との交流、文化継承・郷土芸能伝承等

☆利用方法



☆カード配布(窓口)

伊佐市社会福祉協議会(本所・支所)、社会福祉施設、伊佐市内コミュニティ協議会、伊佐市内小中高校

☆ポイントが貯まったら…

10ポイント貯まったら、社協窓口へお持ちください。

社会福祉大会・学校行事等において、『ボランティア活動認定証』を交付いたします。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償 葬祭費用保険金 (特定感染症)	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ	300万円(限度額)	
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK18-1356B 2019.1.16作成)